岡山県立大学
大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

Press Release

令和６年２月７日

＜お知らせ＞

「吉備の杜」創造戦略プロジェクト

令和５年度「吉備の杜」シンポジウムの開催について

文部科学省の「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（通称：COC+R)」に採択された、「吉備の杜」創造戦略プロジェクトにおける令和５年度「吉備の杜」シンポジウムを次のとおり開催しますので、お知らせします。

記

１　日　時　　令和６年２月２１日（水曜日）１３時３０分から１７時１５分

２　場　所　　岡山県立大学　講堂（総社市窪木１１１）

３　参集者　　大学等教育機関、地域金融機関、地域企業、地域経済支援団体、地域行政機関等の関係者及び職員、大学生／高校生等、本テーマに関心のある方

４　テーマ　　吉備の国「OKAYAMA」の地域人材がつながり、共に創る Next ステージ
― 雑草型人材は地域社会とのエンゲージメントで育つ ―

※ 詳細については別添チラシをご参照ください。

＼取材に関するお問い合わせはこちらまで／
岡山県立大学　「吉備の杜」推進室：村井
TEL 0866-94-2205

岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業
Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization through New Human Resources Education Programs

令和５年度「吉備の杜」シンポジウム

「吉備の杜」創造戦略プロジェクト

吉備の国「OKAYAMA」の地域人材がつながり、共に創るNextステージ

― 雑草型人材は地域社会とのエンゲージメントで育つ ―

「地域人材」とはAIによると、地域の課題を解決するために地域に根ざした知識や経験を持つ人々のことを指します。吉備の国「OKAYAMA」には多種多様な地域人材が存在しており、緩やかに繋がることにより新たな地域社会が創られます。そのリーダーとして、地域課題を認識し、大局的視点から将来像が描ける人材が必要となり、専門性と適応性や可塑性を身に付け、体験知による地域社会への情熱と信念を有した雑草型人材の活躍が強く望まれます。

日　時 2024.2/21㊌ 13:30～17:15（受付開始：13：00～）

参加無料

場　所 岡山県立大学 講堂

申込方法 下記のGoogleフォームからお申し込みください。

締切：2/14㊌
https://forms.gle/nVpwPPGhhQeNBk5a8
なお、お申込みいただいた個人情報は本事業以外の目的で使用することはありません。

同日開催 交流会「Meet Up」 事前申込制

17：30～19：00
岡山県立大学内
学生会館
「toitowa（トワトワ）」

◆定員締切：先着 100名
◆参加費用：一般 1,000円／学生 500円
（お食事代として徴収します）
※当日のシンポジウム受付でお支払いください。
※シンポジウムに参加いただいた方が対象です。

当日プログラム

13:30 開会挨拶

13:50 トークセッション第1部
「Z世代に対する人材育成の課題と地域･企業･大学の役割」
ファシリテーター　高戸 仁郎 （岡山県立大学保健福祉学部 教授）
コメンテーター　坂井 風太氏（㈱Momentor代表取締役）
ゲストスピーカー　草替 隆樹氏（岡山県産業労働部経営支援課長）
梅田 政徳氏（総社市総合政策部長）
徳田 美沙氏（㈱システムズナカシマ管理本部）
松尾 敏正氏（（一社）コミュニティデザイン代表理事）
ホスト　末岡 浩治（岡山県立大学「吉備の杜」推進室長／情報工学部 教授）

15:30 トークセッション第２部
「地域人材を育てる環境づくりと大学のポテンシャル」
ファシリテーター　石田 好伸氏（RSK山陽放送㈱アナウンサー）
ゲストスピーカー　木村 正明氏（㈱ファジアーノ岡山スポーツクラブ ファウンダー･オーナー）
北川 克弘氏（㈱まつもとコーポレーション代表取締役社長）
小野田 吉孝氏（㈱両備システムズ代表取締役副社長COO 両備グループICT部門長）
ホスト　沖　陽子（岡山県立大学長）

17:00 閉会挨拶

お問合せ先
岡山県立大学「吉備の杜」推進室
〒719-1197 岡山県総社市窪木111
TEL / 0866-94-2205　FAX / 0866-94-9105　E-mail / kibinomori@oka-pu.ac.jp
主催：「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ（代表：岡山県立大学）　共催：山陽新聞社・岡山県立大学協力会

トークセッション

第1部：「Z世代に対する人材育成の課題と地域・企業・大学の役割」
第2部：「地域人材を育てる環境づくりと大学のポテンシャル」

組織はますます変化し、多様なスキルや知識が求められている。この変化に対応するために、組織は従来の枠組みにとらわれず、柔軟性を重視した人材育成プログラムを展開する必要がある。

第１部では、Z世代を中心とした人材育成の課題を様々な視点で論じ、今後より一層の地域と企業、大学の連携において、将来に備えた人材の確保と課題解決に取り組むことが、持続可能な発展への鍵となりえるかを問う。

第２部では、地域経済との調和を図りながら、地域社会全体での人材育成の取り組みの重要性、地域での働き手の確保と育成が必要であるなかで、地域社会において中心的な役割を果たし、産官学連携を通じて人材の確保と地域課題の解決に貢献できるポテンシャルを秘めている大学への期待値を問う。

第１部

コメンテーター

坂井　風太 氏　株式会社Momentor 代表取締役

元DeNA人材育成責任者。子会社代表などを歴任後、マネジメント領域で起業。体系化されたマネジメント･人材育成理論が好評を博し、業界最大手企業から急成長スタートアップまで、70社を超える企業を支援。ビジネスメディアPIVOTにて、【Z世代がたった数年で会社を見切る理由】「いても無駄」と「言っても無駄」の動画が累計100万回再生を突破している。

第２部

ゲストスピーカー

木村　正明 氏

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
ファウンダー･オーナー

大学卒業後、金融大手ゴールドマン･サックス証券に入社し、執行役員などを歴任。2006年に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブを創業し、2018年まで株式会社ファジアーノ岡山の代表取締役を務め、同年にJリーグ専務理事に就任。2022年に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブのファウンダー･オーナーに就任し、現在は、東京大学先端科学技術研究センターで特任教授も務める。「スポーツの価値」における学術的根拠を伴い、算出するための合理的方法に関する検証、要素分析、相互作用の定量化などに対するビジネス学的アプローチについて研究している。

ゲストスピーカー

小野田　吉孝 氏

株式会社両備システムズ
代表取締役副社長COO　両備グループICT部門長

大学卒業後、株式会社両備システムズに入社。
自治体や官公庁向けのシステム営業として東京勤務も経験。2013年の執行役員就任以降、両備グループ内ICT部門の６社統合や複数社のM&Aを実施。2021年３月に代表取締役副社長就任。2030年には売上高500億円を目指す。グループ経営方針「忠恕　真心からのおもいやり」を胸に刻み、社員には「夢を持つこと」「失敗を恐れずチャレンジすること」の大切さを伝えている。

ゲストスピーカー

北川　克弘 氏

株式会社まつもとコーポレーション
代表取締役社長

短大卒業後（土木科）、地元札幌の建設会社に入社し土木工事の施工管理に従事。
その後、東京に本社を置く中堅ゼネコンに転籍。業務の傍ら法政大学大学院でリスキリングし、経営学修士（MBA）取得後に同社代表取締役社長に就任。2015年株式会社まつもとコーポレーションに入社、2016年から現職。人材育成に注力し、Society 5.0に対応する建設企業像を追い求めている。

ホスト

沖　陽子 氏

岡山県立大学長

ファシリテーター

石田　好伸 氏

RSK山陽放送株式会社アナウンサー

アクセスの詳細はこちらをご覧ください

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ（順不同）　岡山県立大学、ノートルダム清心女子大学、中国学園大学、岡山県、真庭市、総社市、備前市、赤磐市、笠岡市、津山市、玉野市、井原市、瀬戸内市、中国銀行、山陽新聞社、RSK山陽放送、おかやまコープ、岡山県立大学協力会、岡山県食品新技術応用研究会、システムエンジニアリング岡山、岡山県建築士事務所協会、岡山県経済団体連絡協議会、トマト銀行、岡山県中小企業家同友会、岡山県産業振興財団